

令和4年3月7日

足立区立渚江小学校
学校長 向山 敦子 様

足立区立渚江小学校開かれた学校づくり協議会
会長 大西 るり子

令和3年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

学校は学力向上、健やかな成長のため課題があるところは分析をし、計画を立て児童によりそった丁寧な指導をしている。学校全体でコロナ禍の中「今できること」を最大限に考え取り組んでいる。「笑顔あふれる渚江小」の目標のもと、協議会としても引き続き「渚江の子供たちのため」に学校、保護者と連携・協力をしていきたい。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

【学力向上】

本年度より児童の読解力に課題があるとして「けやきタイム」を導入した。また全学級100%実施できた「パワーアップタイム」、学力に課題のある児童の放課後補習授業「けやき教室」など、コロナ禍で時数の確保が難しい中、日々の教員の手厚な指導で児童は確実に力をつけている。教員は研修や研究授業などに熱心に取り組み授業力向上を図っている。タブレットの配置で学習方法の幅も広がった。目標の数値には届かないところもあったがおいに成果は出ているので今後に期待したい。

【健康な心身の育成】

あいさつをはじめ相手を思いやる心を育てるため学校は日々取り組んでいる。問題があればすぐに対応し、関係機関とも連携をとっている。学校に行くと元気の良いあいさつをする子が多くなってきているなど校長先生が掲げる「当たり前前の方が当たり前前ができる」指導の成果だと思う。

体力面で課題が残った。遊びの制限で外遊びをすることが減ったことも一因と分析している。外遊びは自然と体力が養われ、また生活のリズム、心の成長にもつながる。工夫して取り入れてほしい。

【家庭・地域との連携】

家庭には学習習慣や正しい生活習慣の確立の大切さを認識して協力してほしい。学校評価アンケートで連携について「わからない」が23%あったが、学校は手紙やメール、ホームページなどで丁寧に発信、対応していると思う。発信手段も広がってきている。今後とも地道な発信を続けてほしい。

地域との連携もICTを活用するなど工夫して行われている。開かれた学校づくり協議会では花いっぱい運動を児童と一緒にすることができ、足立区から奨励賞をいただいた。今後とも体験学習等に協力していきたい。

3. その他

渚江小学校は創立120周年を迎えた。学校のこと、地域のことをよく学習し、みんなでお祝いしようとの様子が学校全体から伝わってきた。また式典後のアトラクションで全児童が堂々と元気いっぱいの演技を披露し、たくさんの拍手をいただいた。児童にとって良い経験、自信につながったと思う。制限のある中で学校、保護者、地域、児童みんなで力を合わせて周年事業を立派に行えたことは大変素晴らしい事である。

勉強や運動以外でも児童が活躍できる場として、学校は伝統文化教育「落語・俳句・将棋・百人一首」に力を入れている。俳句ではたくさんの賞をいただいた。児童のやる気を引き出す選択肢として今後とも継続していただきたい。協議会としても協力していく。また外国語教育の中核校として研究を進め児童も大いに成長した。来年度に研究発表があるとの事なので期待したい。